

リサイクルで地球環境の未来を創る

東京ボード工業株式会社

2019年3月期 通期決算説明会資料



2019.5.31

証券コード 7815

1. 当社グループ概要

- 1-1 プロフィール
- 1-2 当社グループのセグメント
- 1-3 当社グループの事業
- 1-4 製品・用途
- 1-5 経営理念
- 1-6 ビジネスモデル

2. 2019年3月期 通期連結実績

- 2-1 連結業績ハイライト
- 2-2 営業利益増減要因
- 2-3 売上高3期比較
- 2-4 連結貸借対照表
- 2-5 連結キャッシュ・フロー計算書

3. 2020年3月期 通期予想

- 3-1 連結業績予想
- 3-2 個別業績予想
- 3-3 設備投資・減価償却費予想

4. 市場動向

- 4-1 木質パネル市場
- 4-2 木質パネル供給量の推移
- 4-3 新木場リサイクリング工場は
「東京23区内」の好立地
- 4-4 木質チップ市場の動向

5. 中期経営計画

連結業績計画

6. 参考資料

1. 当社グループ概要

1. プロフィール

3. 当社グループの事業

5. 経営理念

2. 当社グループのセグメント

4. 製品・用途

5. ビジネスモデル

1-1 プロフィール

会 社 名 東京ボード工業株式会社
所 在 地 東京都江東区新木場二丁目11番1号
設 立 年 月 1947年5月
資 本 金 221,000千円
代 表 者 代表取締役社長 井上 弘之
発行済株式 3,660,369株(自己株式含む)
上場取引所 東京証券取引所第二部
証券コード7815
従 業 員 数 258名(連結)2019年3月末現在
事 業 内 容 パーティクルボード、WPCの製造加工販売
木質チップの製造販売、木材加工
一般・産業廃棄物の中間処理



新木場リサイクリング工場



佐倉工場

1-2 当社グループのセグメント

2つの事業を展開しています。

木材環境ソリューション事業



①構造用パーティクルボード “壁武者” フローリング基板の製造・加工及び販売

マンション、オフィスビルの床材、家具用材として利用。
また、輸入合板の代替建材として構造用やフロア台板への市場にも参入します。



②廃棄物の収集運搬及び中間処理 木質チップの製造・販売

廃木材からパーティクルボードの原料となる木質チップを製造、販売しています。



その他(WPC,商品売上等)
国産合板等の商品を販売しています。

ファシリテイ事業



③不動産賃貸

工場跡地で商業施設の運営等を営んでいます。

1-3 当社グループの事業

木材環境ソリューション事業は緑枠、ファシリティ事業は赤枠となります。

東京ボード工業株式会社(当社)



- ・木質廃棄物の収集及び再資源化
- ・パーティクルボードの製造、加工

ティー・ビー・ロジスティックス(株)



- ・廃棄物の収集運搬
- ・製品の配送(車両保有台数68台)

(株)カリブ



- ・商業施設の運営

TB関西物流(株)



- ・廃棄物の収集運搬
- ・製品の配送(車両保有台数8台)

横浜エコロジー(株)

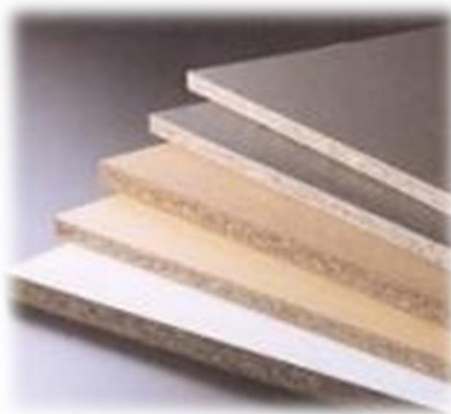


- ・木質チップの製造販売
- ・太陽光発電による売電

1-4 製品・用途

パーティクルボード

- ・乾式二重床の建材
- ・家具、家電製品の芯材
- ・複合フロアの基板
- ・構造用パーティクルボード壁武者
- ・床の下地材
- ・体育館・オフィス用床下地材



WPC

(Wood Plastic Composite)

- ・デッキ
- ・エクステリア
- ・外構



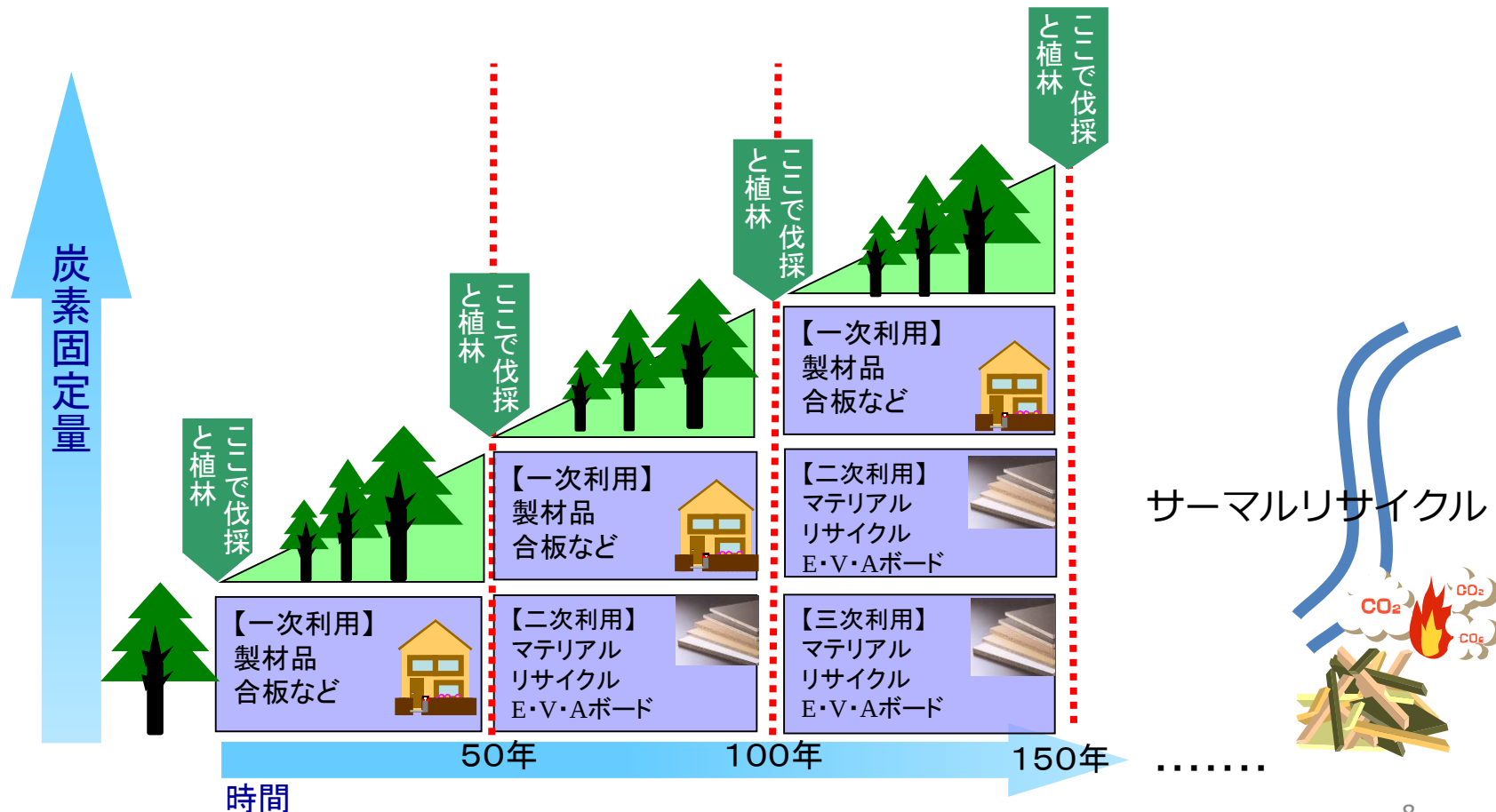
経営理念

「リサイクリングで地球環境の未来を創る」

リサイクリング：資源循環(Recycle)の輪（ring）と現在進行形の-ingを併せた造語

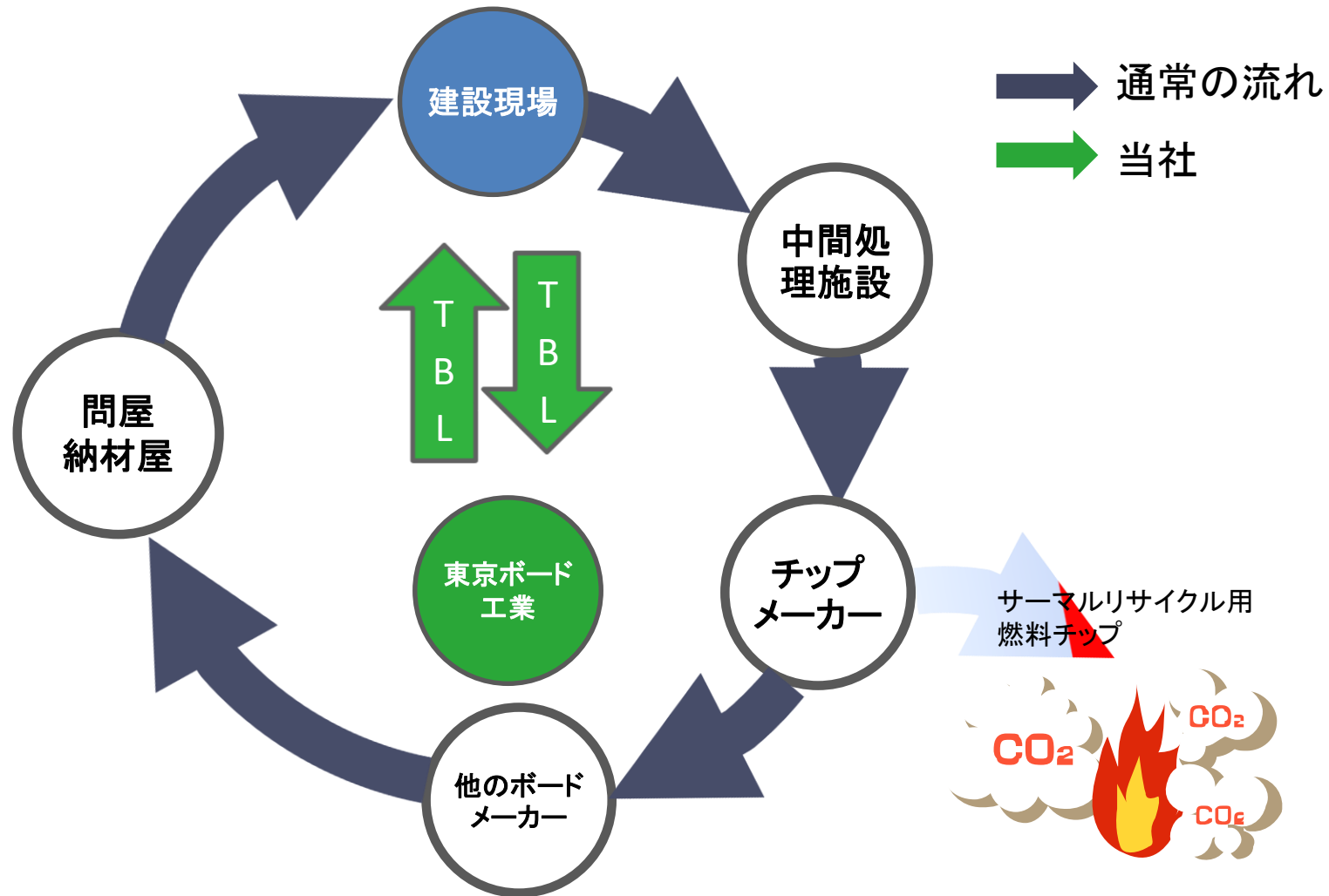
ミッション

地球上の炭素固定量を増やす。



1-6 ビジネスモデル

- パーティクルボードを建設現場に配送し、その現場から原料となる廃木材を回収。



一般貨物運送と産業廃棄物運搬・処理の許可を取得している東京ボードグループだからできる強み。

2. 2019年3月期 通期連結実績

1. 連結業績ハイライト

2. 営業利益増減要因

3. 売上高3期比較表

4. 連結貸借対照表

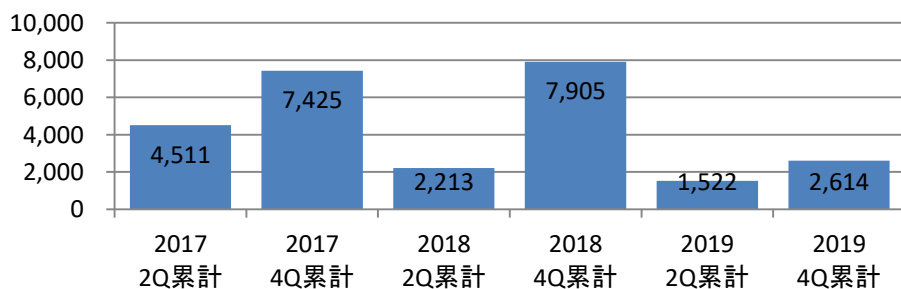
5. 連結キャッシュフロー計算書

2-1 連結業績ハイライト

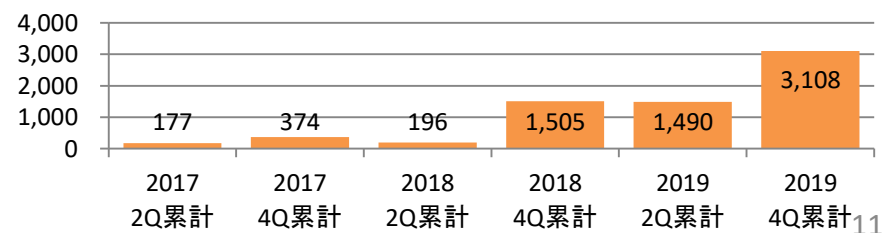
佐倉工場の本格稼働が遅れ増収するも、機械設備の減価償却が始まり売上原価が上昇し減益。
固定資産の譲渡により当期純利益を計上

単位: 百万円	2018年3月期		2019年3月期			
	累計	売上比	累計	売上比	増減額	増減率
売上高	5,921	—	6,717	—	796	13.4%
営業損益	△877	—	△2,719	—	△1,842	—
経常損益	△972	—	△2,821	—	△1,849	—
特別損益	△283	—	3,154	47.0%	3,437	—
当期純損益	△1,402	—	95	1.4%	1,497	—
EBITDA	654	—	419	—	△235	△35.9%
設備投資額	7,905	133.5%	2,614	38.9%	△5,291	△66.9%
減価償却費	1,505	25.4%	3,108	46.3%	1,603	106.5%
販売数量	61,774 ^ト	—	74,997 ^ト	—	13,223 ^ト	21.4%
生産数量	65,045 ^ト	—	89,363 ^ト	—	24,318 ^ト	37.4%

設備投資額推移



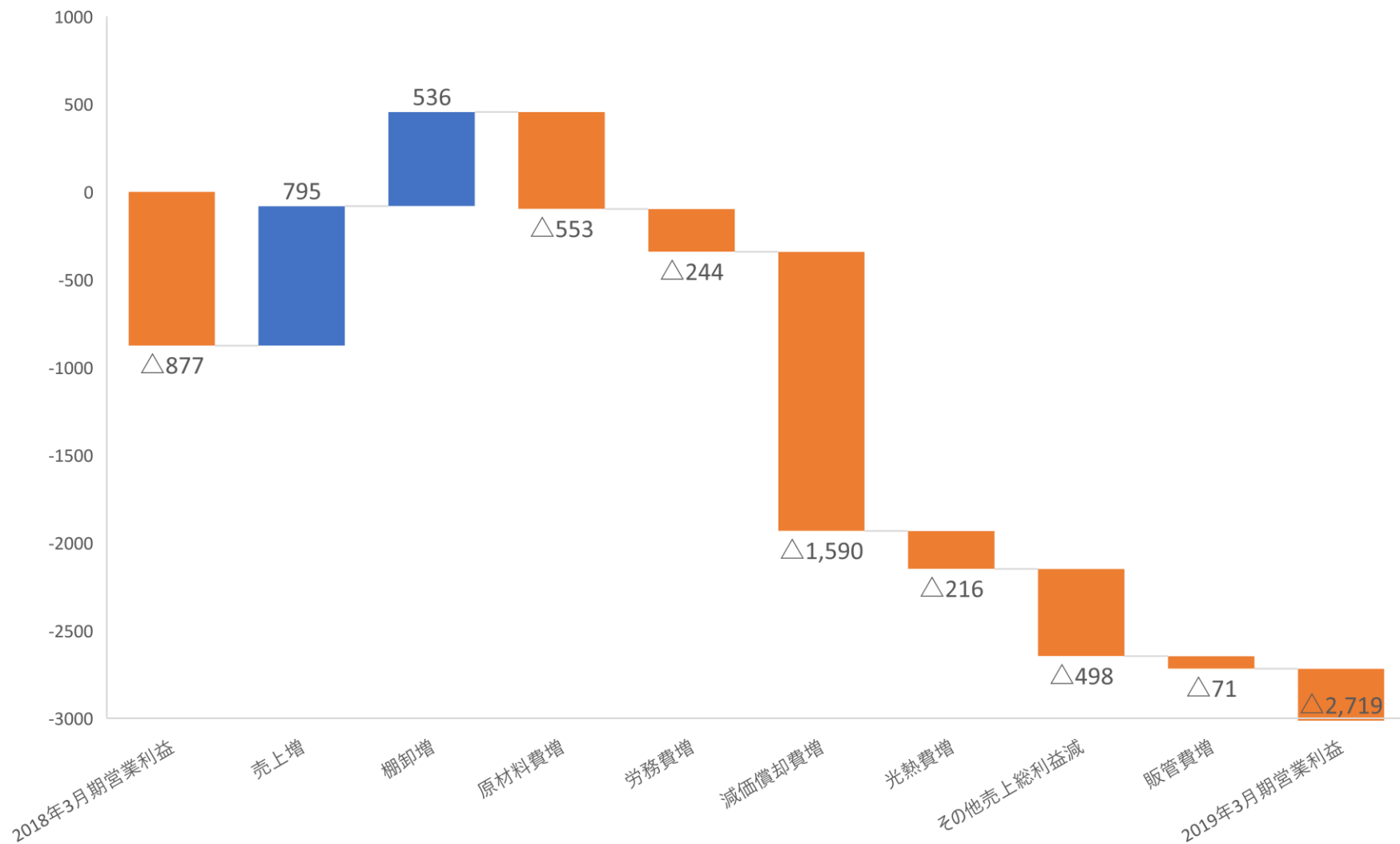
減価償却費推移



2-2 営業利益増減要因

原材料費及び減価償却費、労務費の増加が減益要因

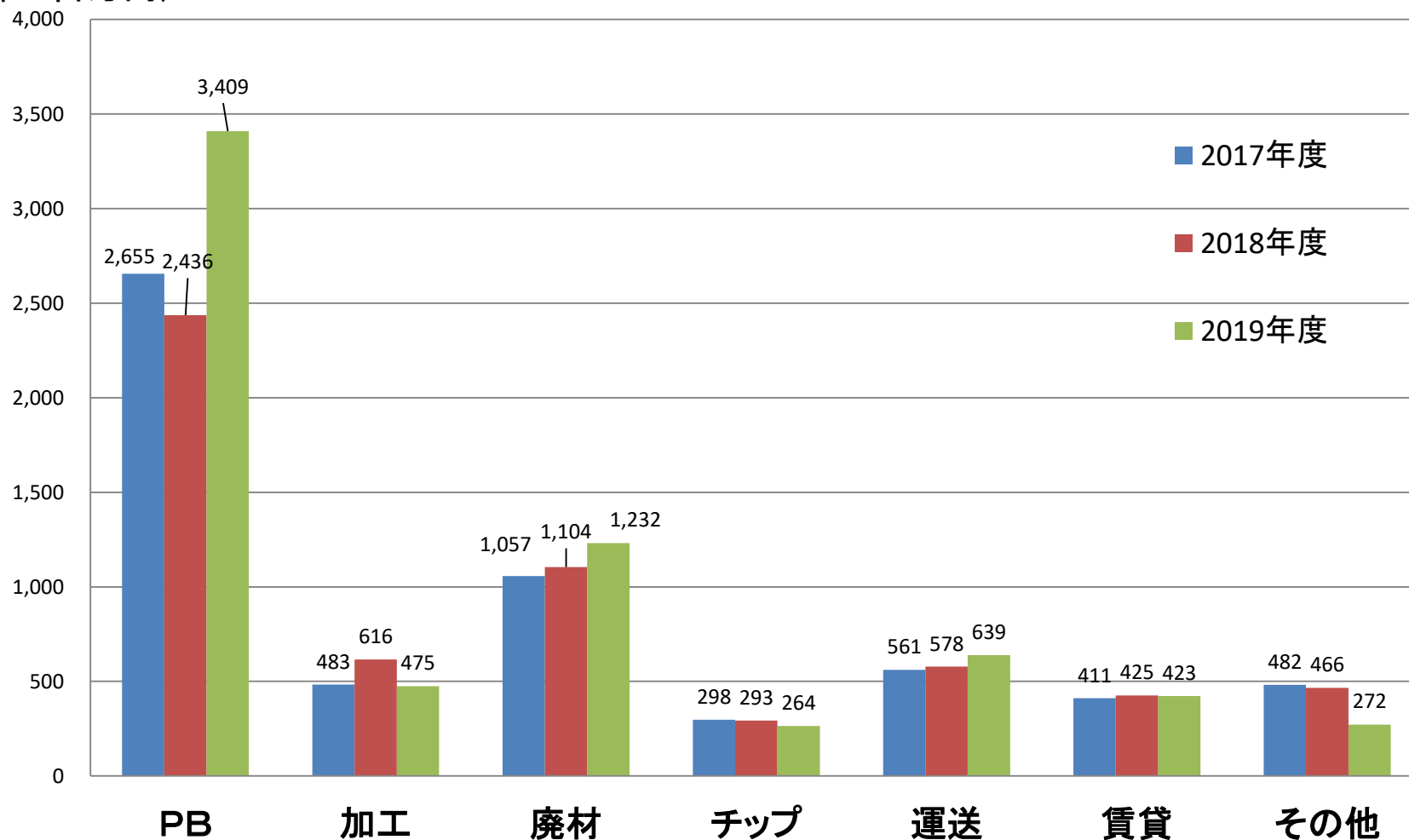
(百万円)



2-3 売上高3期比較表

売上高3期比較表

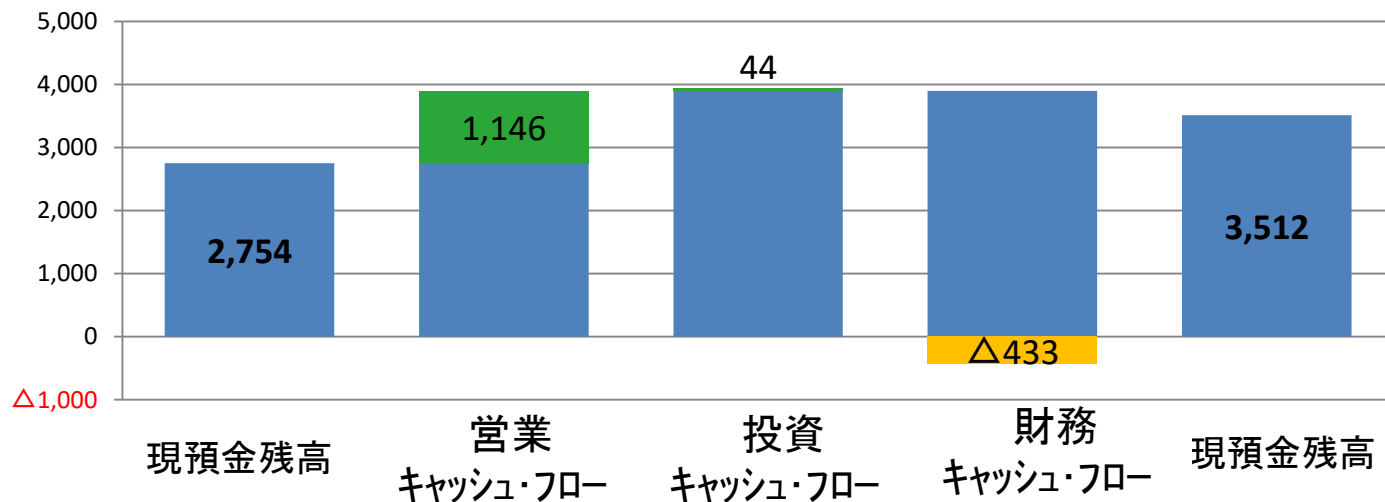
(単位: 百万円)



2-4 連結貸借対照表

単位: 百万円		2018年3月31日		2019年3月期			
		残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資産の部	流動資産	5,594	23.0%	5,701	23.9%	107	1.9%
	固定資産	18,715	77.0%	18,148	76.1%	△567	△3.0%
	合計	24,310	100.0%	23,849	100.0%	△461	△1.9%
負債・純資産の部	流動負債	4,777	19.7%	4,302	18.0%	△475	△9.9%
	固定負債	15,243	62.7%	15,164	63.6%	△79	0.5%
	負債合計	20,021	82.4%	19,467	81.6%	△554	△2.8%
	純資産合計	4,288	17.6%	4,382	18.4%	94	2.2%
	合計	24,310	100.0%	23,849	100.0%	△461	△1.9%

2-5 連結キャッシュ・フロー計算書



営業キャッシュ・フロー		投資キャッシュ・フロー		財務キャッシュ・フロー	
増減額		増減額		増減額	
税金等調整前利益	332	固定資産の取得	△2,970	短期借入金の返済	△900
減価償却費	3,108	固定資産の売却	3,189	社債の償還による支出	△226
棚卸資産の増加	△616	その他	△174	長期借入金の返済	△922
運転資金の増加	380			長期借入による収入	1,673
法人税等の支払	△104			配当金の支払	△57
固定資産の売却	△3,199				
その他(未収入金等)	1,245				
合計	1,146	合計	44	合計	△433

3. 2020年3月期 通期予想

1. 連結業績予想

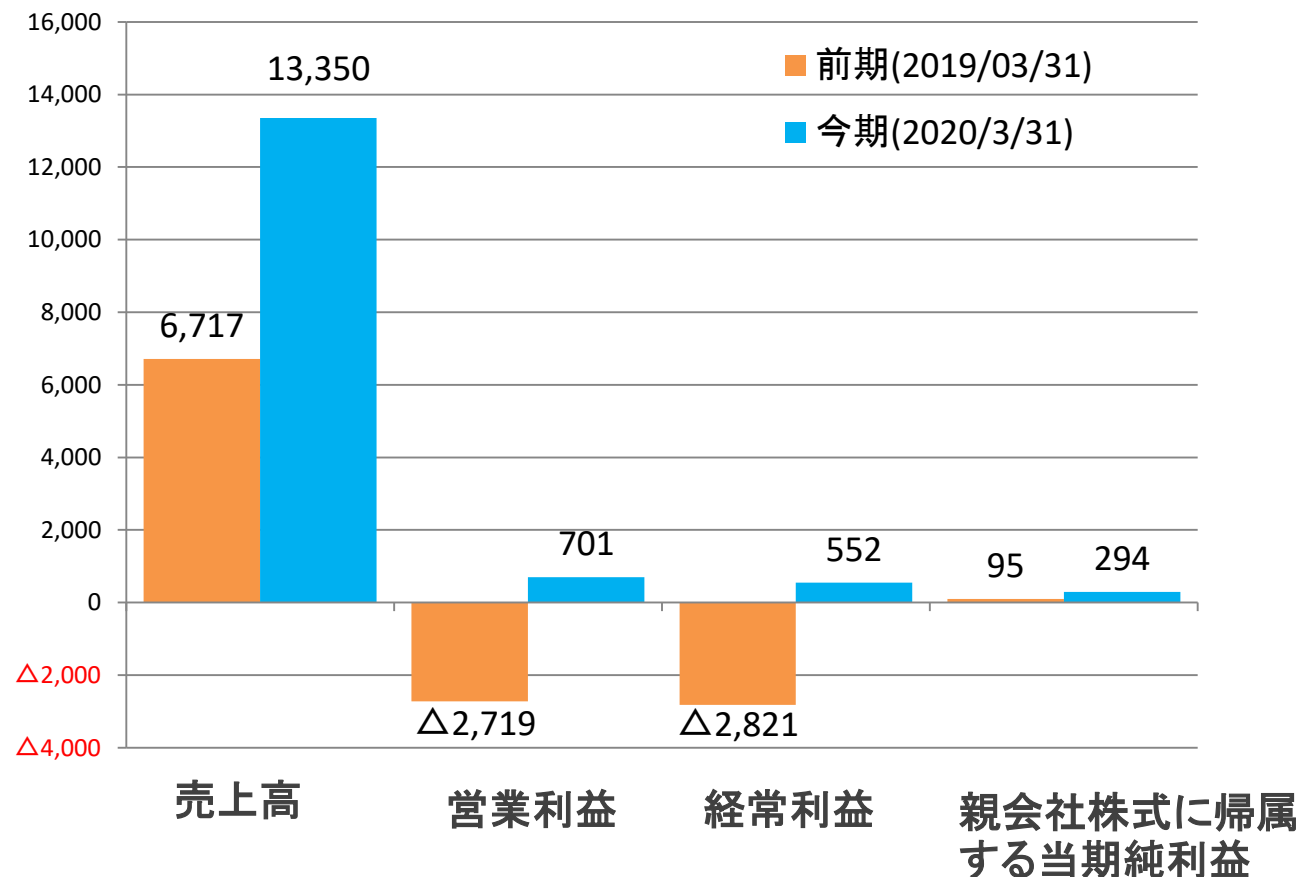
2. 個別業績予想

3. 設備投資・減価償却費予想

3-1 連結業績予想

■ 今期連結業績予想(2020年3月期)

(単位:百万円)



■ 売上高の拡大施策

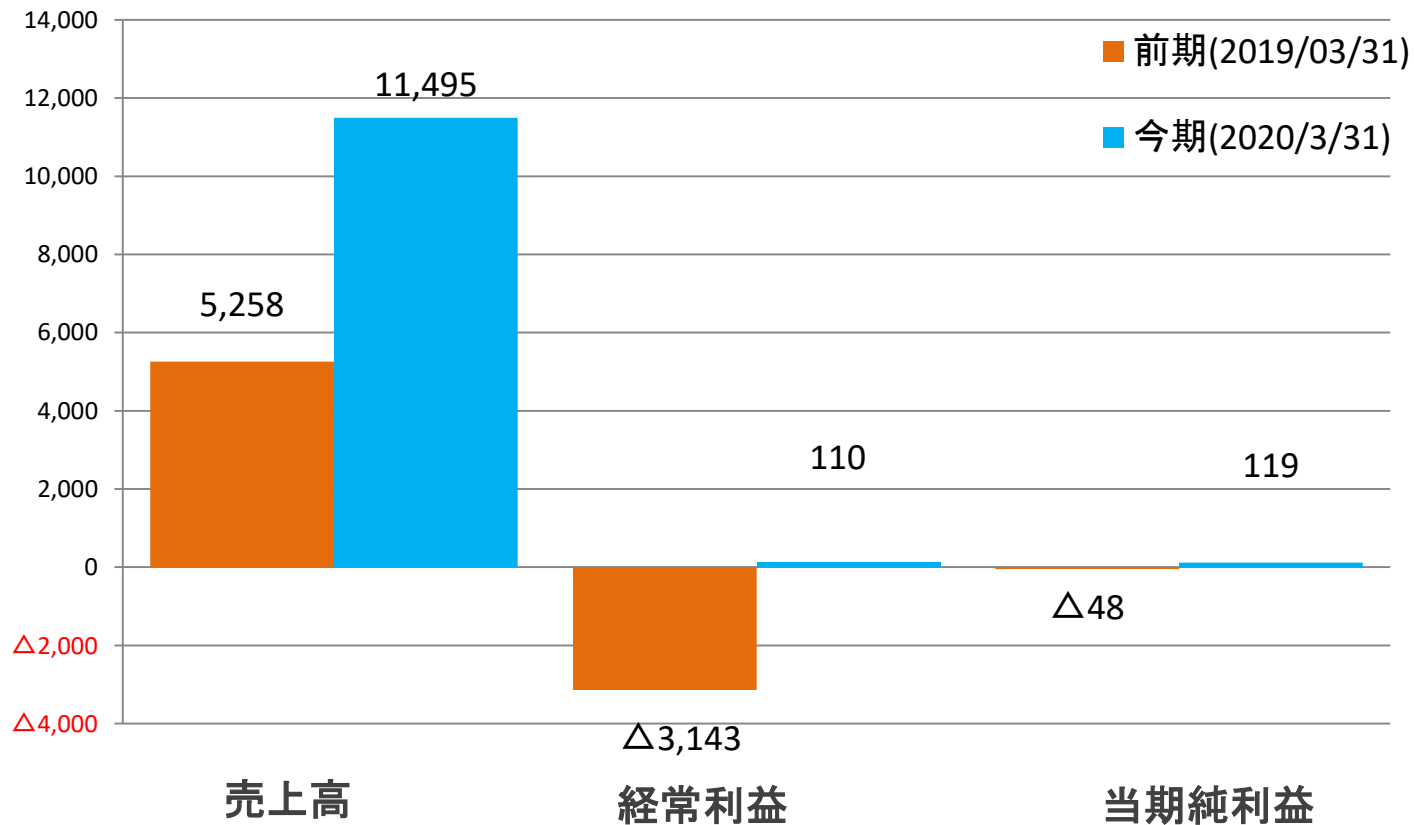
佐倉工場においてもフル生産を達成し、新木場工場と合わせ売上を拡大する。

構造用パーティクルボード新商品“壁武者”の販促プロモーションを実施、置床パーティクルボードの販売シェア拡大し、今期業績目標を達成する。

3-2 個別業績予想

■ 今期個別業績予想(2020年3月期)

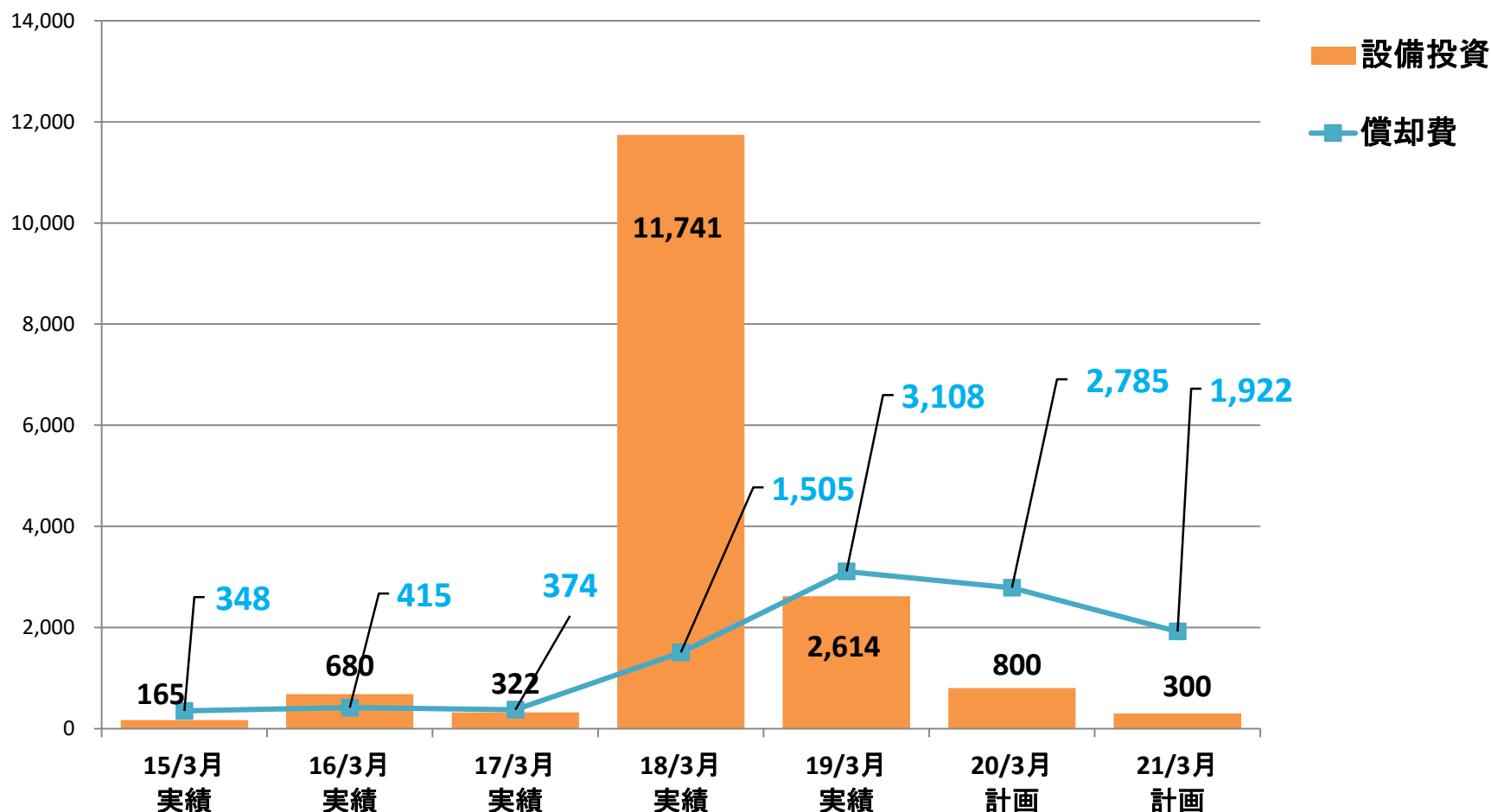
(単位: 百万円)



3-3 設備投資・減価償却費予想

減価償却は定率法(8年)を採用しており、2019年3月期(前期)をピークに減少。

(単位: 百万円)



4. 市場動向

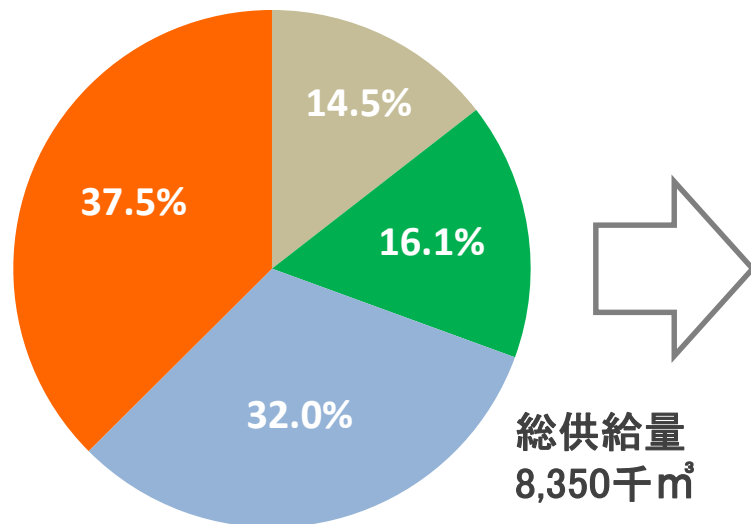
1. 木質パネル市場

2. 木質パネル供給量の推移

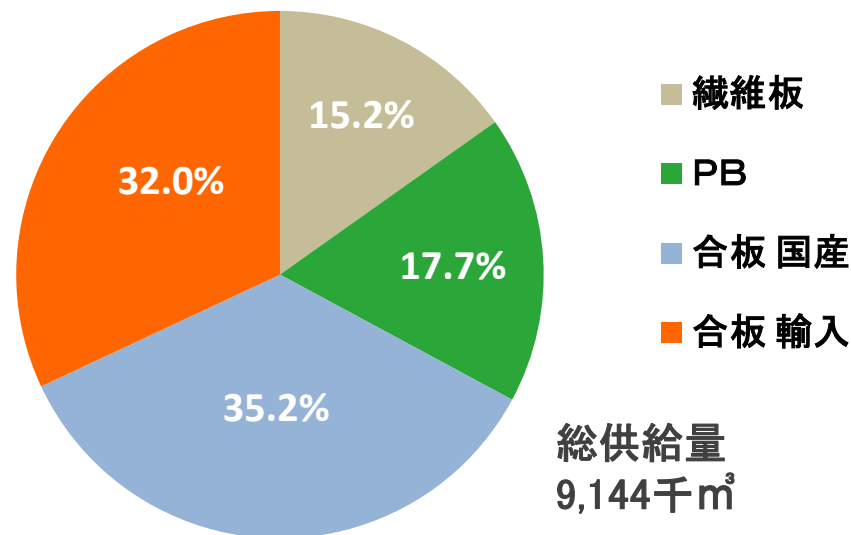
3. 木質チップ市場

4-1 木質パネル市場

2010年木質パネル供給シェア

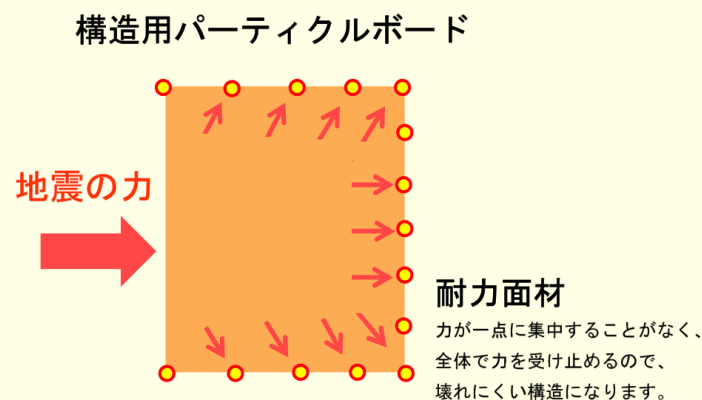
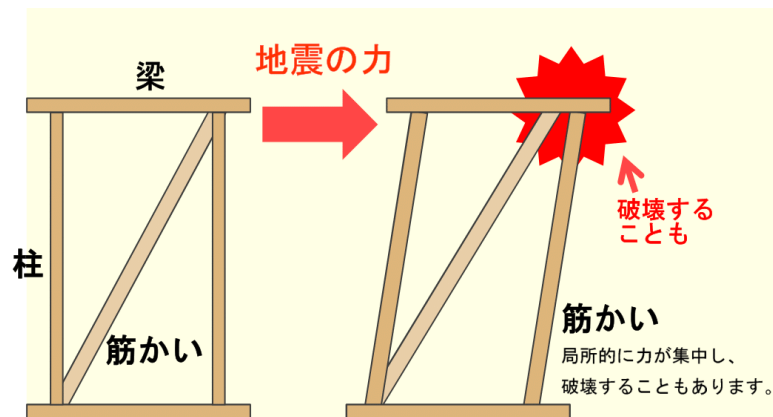


2018年木質パネル供給シェア



国内

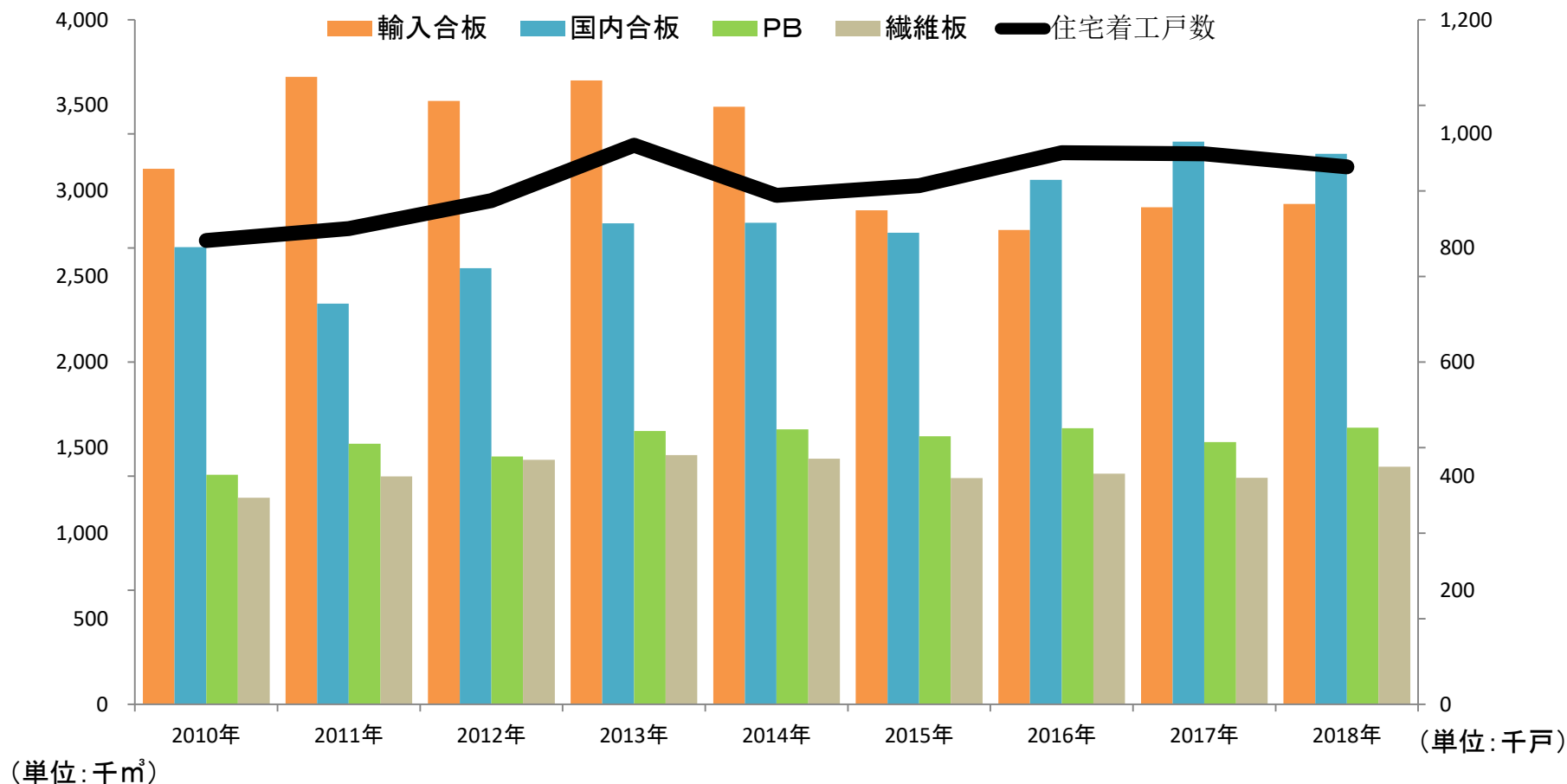
出典：経済産業省「建材統計」、財務省「貿易統計」



4-2 木質パネル供給量の推移

パーティクルボード及びその他の供給状況

世界的な環境規制等により輸入合板が減少し、国産合板及びパーティクルボードへ代替が進んでおり、この傾向はしばらく継続する見込み。



出典: 経済産業省「建材統計」、財務省「貿易統計」



1. ONLY 1

東京23区内で、廃木材の受入からパーティクルボードの製造を、一貫して行っているのは当社のみ。

2. 物流面で大きな優位性

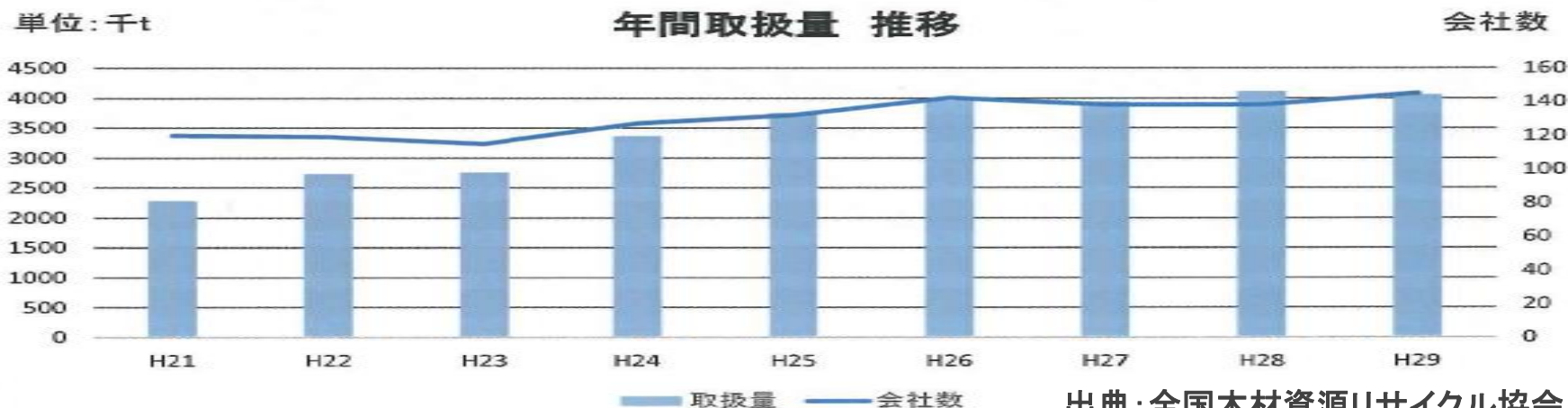
新設住宅着工戸数の3割以上が首都圏。
当社工場から建設現場へ直接配送と
廃木材の直接回収が可能。

3. 2020年 東京オリンピック

東京オリンピックの中心となる東京湾岸エリアに位置する。

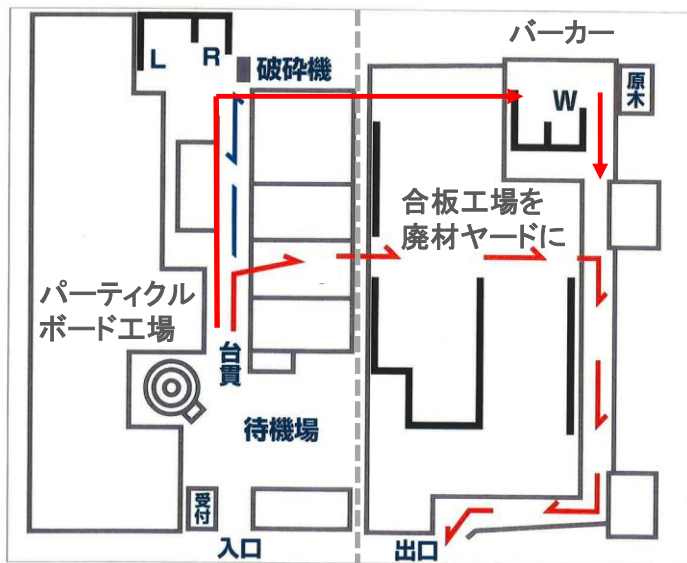
4-4 木質チップ市場の動向

廃木材の取扱量は、全国的に増加傾向。



出典:全国木材資源リサイクル協会

受入量の増大を目指し新木場 廃材ヤードを拡張



最大5時間の待ち時間を、30分以内へ解消。



5. 中期経営計画

中期経営計画(連結)

設備等の改修を行い、2019年6月を目途に安定的なフル生産に移行する見込み。

(単位:百万円)

	2017年3月期 第72期 (実績)	2018年3月期 第73期 (実績)	2019年3月期 第74期 (実績)	2020年3月期 第75期 (計画)	2021年3月期 第76期 (計画)
売 上 高	5,950	5,921	6,717	13,350	13,834
営業損益	653	△877	△2,719	701	1,792
経常損益	485	△972	△2,821	552	1,664
減価償却費	374	1,505	3,108	2,785	1,922
EBITDA ※1	918	654	419	3,501	3,729

※1 EBITDA＝税金等調整前当期純損益に特別損益、支払利息及び減価償却費を加算した値です。

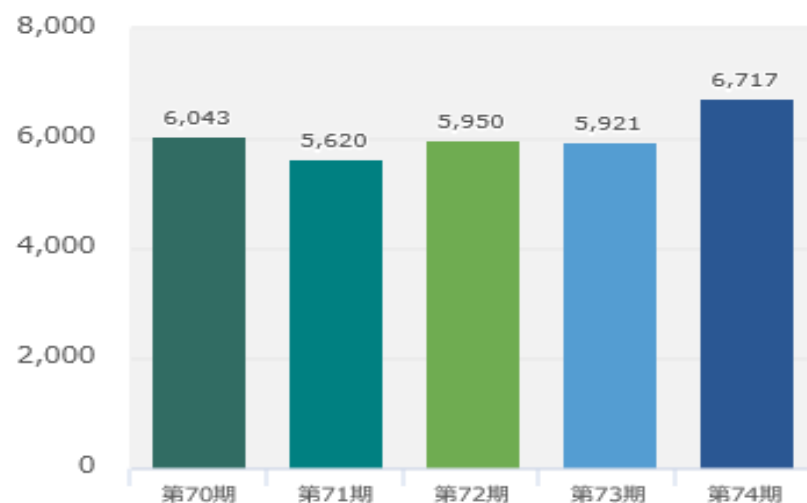
設備の減価償却は、8年の定率法を採用しています。

6. 参考資料

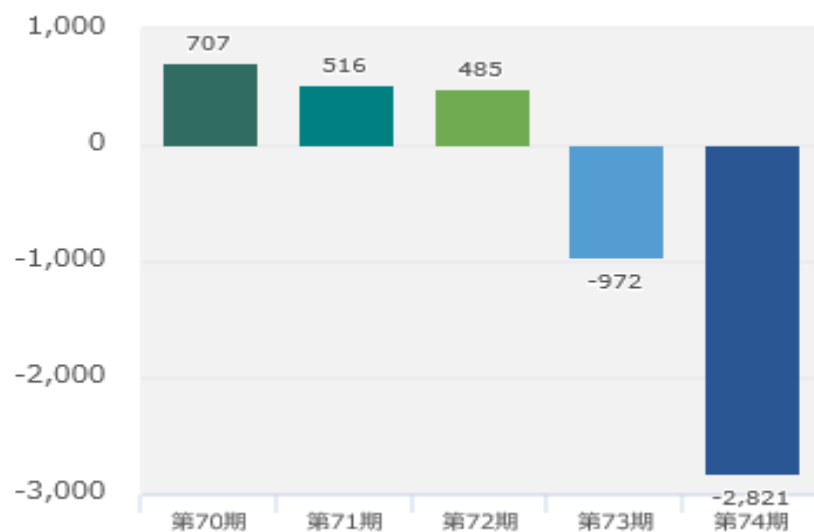
6 参考資料

連結売上高

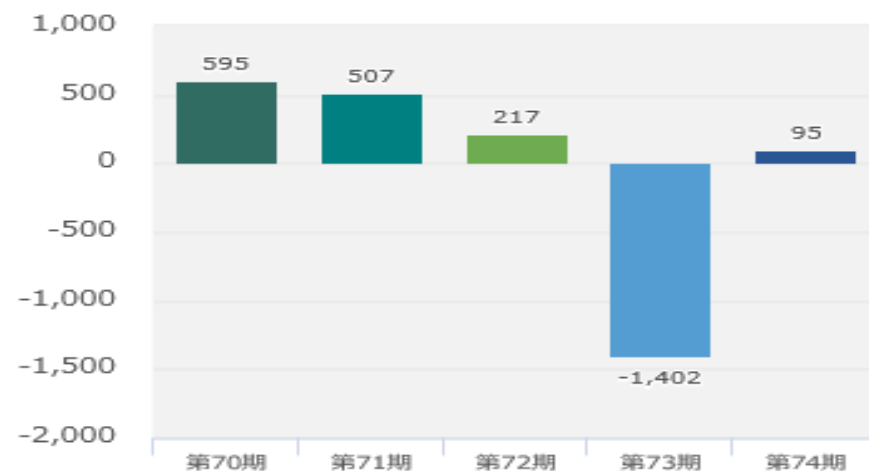
(単位:百万円)



連結経常利益

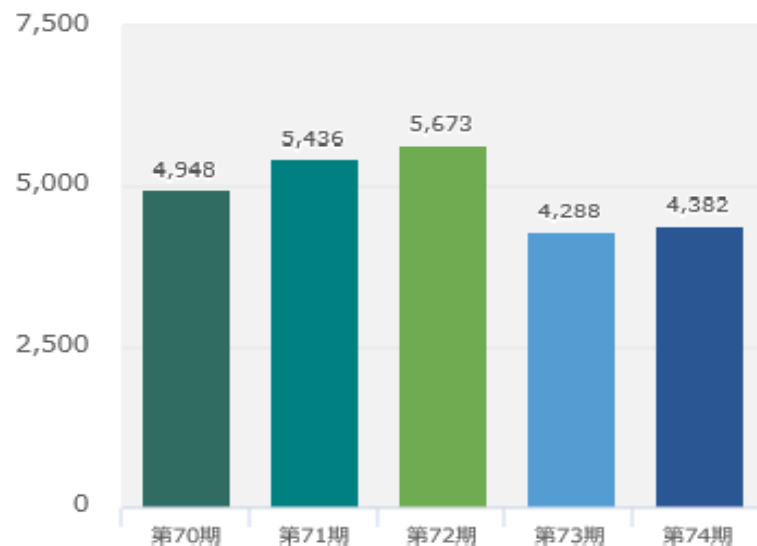


親会社株主に帰属する当期純利益

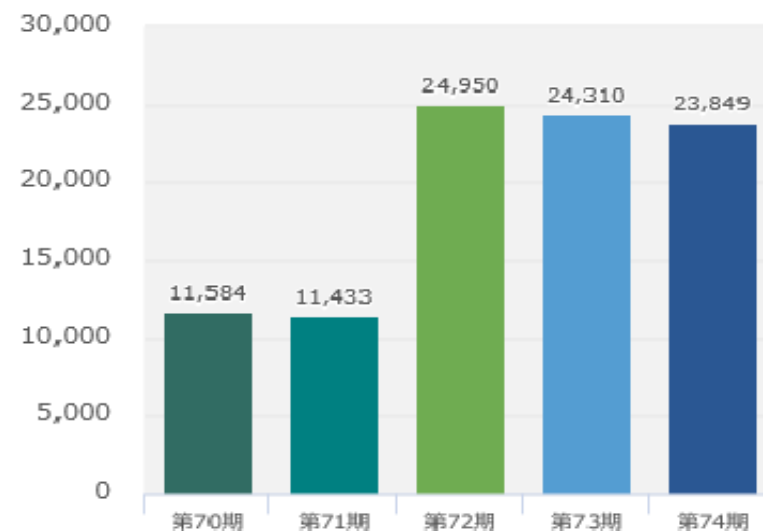


(単位:百万円)

連結純資産



連結総資産



問い合わせ先
東京ボード工業株式会社
経営管理部

TEL : 03-3522-4138

E-mail: t-b-i@t-b-i.co.jp

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり当社が、その実現をお約束する趣旨のものではありません。